

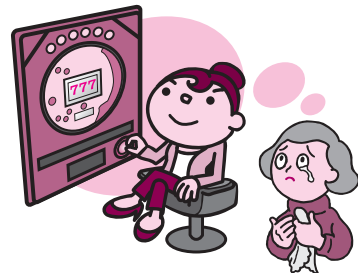


# ダメ！高齢者虐待

## 経済的虐待と 介護・世話の放棄

娘さんと2人暮らしのAさん（85歳）は、娘さんの介護を受けながら暮らしています。Aさん親子はAさんの年金で暮らししており、その年金は娘さんが管理しています。

娘さんは、Aさんの年金を勝手に引き出し、そのお金で毎日のようにパチンコをしています。Aさんの食事は1日1回きりで、コンビニのおにぎり1つだけです。お腹がすいても娘さんが年金を使ってしまうので、食べ物を買うことはできません。Aさんは「娘にはいろいろ迷惑を掛けているから…」と気を使いき、お金のことを口にしません。やがてAさんは、栄養不足から体調を崩し、家で寝ていることが多くなり、1人では外出もままならない状態になりました。しかし、娘さんはAさんを病院へ連れて行かず、Aさんの状態は悪化していくばかりでした。Aさんの姿を最近見掛けな



ことを不審に感じた民生委員さんが、地域包括支援センターに相談。職員がAさん宅を訪問し、娘さんやAさんと話し合いを重ねたところ、娘さんの態度に変化が表れ、病院の受診やデイサービス（介護保険サービス）を利用するようになり、Aさんの状態は改善されました。

『何かおかしい』『どうしたらいいんだろう』そう思ったら、気軽に相談窓口連絡してください。

### ▼高齢者虐待に関する相談窓口

- 高齢・介護グループ (☎855720)
- または地域包括支援センターあおい (☎830511)
- ゆのか (☎882106)
- 「けいあい」 (☎825005)

人が輝き まちがときめく

## 仲間たち

Group

### ボニー・クラック

『ボニー・クラック』は、昭和57年に若草小学校PTAコーラスとして結成し、翌年からPTAを離れ、登別市文化協会コーラス部（現登別合唱協会）に所属。現在、会員は30代から70代までの19人で、毎週金曜日に主に若草つどいセンターで活動しています。

「コーラスの魅力は、なんといっても、みんなで作るハーモニーですね。きれいなハーモニーができたときの喜びは何物にも替えがたいものです。カラオケなど、一人で歌うのとはまた違った楽しさがあるんです」と話すのは、団長の打矢美和さん。

「平塚圭子先生の指導の下、先生の人柄などもあって、団員同士とても仲が良く、毎年、春のお花見で親ぼくを深め、秋の市民文化



### コーラスを通じてできた 人と人とのつながりが 一番の財産です



祭コーラスフェスティバルでは、日ごろの練習の成果を披露することができますので、いくつになっても続けていきます。初心者大歓迎です。ぜひ一緒にコーラスを楽しみましょう」と打矢さんは入会を呼び掛けていました。

5年前の登別市文化協会創立40周年文化記念事業『第九演奏会』のコーラスに一般参加して、そのまま入会した齋藤ミツ子さんは、「もともと歌うことが好きでしたが、コーラスに参加して、みんなで作る出すハーモニーの素晴らしさにすっかり魅了されています。今はずっとも充実しています」と楽しそうに話してくれました。入会を希望される方は、打矢さん (☎860150) までどうぞ。